

No.	タイトル	分類	内 容	制作年	形式	時間	活用ガイド
1	あなたのいる庭 (R6購入DVD)	こどもの人権	社会には、虐待や貧困、死別など様々な理由で保護者と暮らせず、児童養護施設など社会的養護のもとで暮らしている子どもたち、そして社会的養護下から自立したが、家族からのサポートを得られずに生きる人たち(ケアリーバー)がいます。社会的養護の現状や実態を知る人は少なく、世間からの無理解と偏見にさらされ、居場所を見い出せず、進学や就職など生きる上で様々な困難に直面している現状があります。次代の社会を担う子どもたちが自分らしく幸せに成長でき、暮らせるように、社会全体で支えていかなければなりません。「こどもと人権」について改めて考え、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざすことを目的として、人権啓発ドラマを制作しました。	2024	実写	35分	解説書 ワークシート あり
2	大切なひと (R5購入DVD)	部落差別	現代社会におけるインターネットは利便性が高く、SNSや動画投稿サイトなどを通して自由に意見表明することができるのが特徴です。一方で、インターネット上では他者からの評価が自身の評価と誤認し、部落差別・外国人差別といった偏見や差別を助長するような情報を発信する行為がみられます。ときに投稿者自身も第三者から誹謗中傷を受けることがあり、現在深刻な人権問題となっています。インターネット上の一部の情報が、誤った差別意識を助長すること、表現の自由を逸脱した許されない行為であると気づく大切さ、差別されている当事者が訴え続けるという負担を強いる社会構造の実態について理解するとともに、差別のない社会、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざすことを目的として、人権啓発ドラマを制作しました。	2023	実写	34分	解説書 ワークシート あり
3	言葉があるから… (R6購入DVD)	人権全般	「人権」は日常の何気ない人と人との関係性の中にもあります。しかしながら、普段そのことを当たり前のよう理解しているつもりでも、家族や友人、同僚などの近く親しい関係性においては、相手を一人の人間として尊重する意識がおろそかになってしまうことがあります。あからさまな差別表現でなくても、無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動のことを指す「マイクロアグレッション(小さな攻撃性)」。その言葉の背景には、国籍や人種、性別、性的指向など、特定の属性の人たちへの軽視や偏見が隠れていることがあります。自覚なく加害者にならないために……。属性にとらわれずに、ありのままのそとと向き合うことの大切さを、このドラマでは描いています。職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけとしてお役立てくださいお役立てください。	2023	実写	31分	解説書 ワークシート あり
4	バースデイ (R5購入DVD)	性的マイノリティ	今回の作品のテーマは、「性の多様性を認め合う～誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～」です。性的少数者については、依然として社会理解が進まず、偏見や差別、配慮に欠けた対応などで、自身の思いや悩みを打ち明けることが難しく、周囲の無理解に苦悩し、生きづらさを感じている状況など様々な問題があり、深刻な人権問題になっています。一方、性的少数者であることを打ち明けられた家族や友人等は、既存概念による偏見や知識不足によって、理解しようと向き合う前に混乱や抵抗感にとらわれてしまうことが多くあります。性の在り方は多様で一人ひとりの人権に関わることであるため、性的少数者の存在や悩みに気づくことが大切です。この作品を性的少数者について理解するきっかけとし、その多様性を認め、互いの人権を尊重することは、すべての人が自分らしく生きていける社会につながっていきます。そのような社会の実現をめざすことを目的として、人権啓発ドラマを制作しました。	2022	実写	37分	解説書 ワークシート あり
5	知りたいあなたのこと:外見からはわからない障害・病気を抱える人	障がいのある人	外見からはわからない障害や病気を抱えながら日常生活を送っている人は多くいます。一見すると健康そうに見えるので、障害や病気が周囲に理解されず、辛い思いをすることもあるといえます。この作品では、2人の難病患者さんと、てんかんと発達障害をもつ大学生を取材しました。どんな場面で困っているのか、どんな配慮が求められているのか。外見からはわからない障害や病気を抱える人の話を通じて、私たちにできる配慮を共に考えてゆく内容です。	2019	実写	21分	

6	部落の心を伝えたいシリーズ 第31巻 ありのまま生きる～坂田愛梨・瑠梨～	部落差別	愛梨(25)・瑠梨(24)、7年ぶり2度目の登場。母から受け継いだ「ありのままに生きる覚悟」。就職・結婚・出産を経た今、伝えるべきことは？ 仲間、つながり・・・部落問題をはじめとする 人権問題を考えることが「生きる力」を育んだ。	2017	実写	24分	
7	夕焼け (R4購入DVD)	共生社会	「ケアラー～だれもが人権尊重される社会を～」 今回の作品のテーマは、「ケアラー～だれもが人権尊重される社会を～」です。 相手が家族や親しい人であっても、毎日誰かの介護や世話をすることは、身体的、精神的、さらに経済的にも大きな負担がかかります。特にヤングケアラーは、学校に通い、教育を受け、友人と交流を通して成長する重要な時期であるにもかかわらず、その状況が周囲から見過ごされることが多いという問題があります。 主人公、瑠依は、幼い弟の世話や家事に追われる生活にしんどさを感じつつも、「家族のことは家族であるのが当たり前」という思い込みから、気持ちを押し殺して生活しているヤングケアラーです。しかし、元ケアラーの灯との交流によって、自分の状況や本当の気持ちについて見つめ直し、将来に向き合うための一歩を踏み出します。この作品では、お互いを気にかけて、人と人がつながっていくことが、ケアラーと家族が抱える問題解決の糸口になる様子を描きます。 ケアは、他人事ではありません。だれもがケアする側にもケアされる側にもなります。年齢属性を問わず、共に助け合える『だれもが人権尊重される社会』の実現をめざすことを目的として、人権啓発ドラマを制作しました。	2021	実写	35分	解説書 ワークシート あり
8	部落の心を伝えたいシリーズ第 33巻:12年後の決断～吉岡綾～	部落差別	「人権問題を他人事じゃなく自分事として捉え、子どもたちにも伝えてくれたら」 第12巻「若い力は今」から12年。その間、綾さんは結婚し、生活環境も激変した。二人のこどもに部落についてどう伝えるべきか、母としての不安、揺れ動く気持ちを赤裸々に語る。心を蝕むリアルな部落差別が、ここにある。11年連れ添う夫、敬愛する義父、信頼する先輩、見守る母親…綾さんを取り巻く人々の含蓄ある言葉の数々が深く温かく胸に響く。	2021	実写	28分	
9	家庭からふりかえる人権:話せてよかった	身近な人権問題	「家庭からふりかえる人権」 人がそれぞれに持っている価値観の違いを認めて、相手を大切に思うことは、「人権」の基本的な考え方です。そして「人権」は日常の何気ない人と人との関係性の中にもあります。普段そのことを当たり前のよう理解しているつもりでも、夫婦や親子のような近く親しい関係性においては、相手を、そして自分自身を、一人の人間として尊重する意識がおろそかになってしまっていることがあります。 本作では、日常の中の思い込みによって生じる問題を描き、相互理解のためのコミュニケーションによって、その問題と向き合うことを提案します。家庭の人間関係は、私たちの人権意識を育む基盤です。そこからふりかえることで、組織や社会における意識も見つめ直すことができるのではないのでしょうか。自分の中にある思い込みに気づき、自分も相手も尊重する人間関係を築くために、職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけとしてお役立てください。	2020	実写	27分	
10	カンパニユラの夢 (R3購入DVD)	超高齢化社会と ひきこもり	「超高齢化社会とひきこもり(8050問題)」 近年、主に「80代」の高齢の親が「50代」のひきこもりが長期化した子を支えている家庭が増加しています。「8050問題」とは、こうした過程が地域社会との接点を失い、親子ともども生活が困窮するなどの課題を抱え、将来への展望が見いだせない超高齢化社会における新たな社会問題のことです。 背景には、家族や本人の病気、親の介護、離職(リストラ)、経済的困窮、人間関係など、複合的な課題を抱えながらも、親子共倒れの問題が発生するまでSOSの声を上げることができない、現在の超高齢化社会における「家族の孤立」が地域に潜在化していることがあります。 この作品は、二つの家族の視点が進行します。主人公の岸本麻帆はあることをきっかけに「ひきこもり」は誰にでも起こり得ることだと気づきます。一方、20年以上ひきこもり状態にある谷口誠一とその両親は問題が長期化する中で、解決の糸口すら見いだせないまま苦悩しています。麻帆は谷口家の抱える問題に寄り添い、解決策を求め行動を起こします。 急速に高齢化が進む今、8050問題は誰にでも起こり得ることと認識し、地域の人人々がひきこもりなどの悩みを共有し偏見をなくするとともに、互いに助け合うことで地域共生社会の実現をめざす人権ドラマです。	2021	実写	36分	解説書 ワークシート あり
11	今そこにいる人と、しっかり出会う	部落差別	「今、そこにいる人と、しっかり出会う」 同和問題はわが国固有の人権問題であり、日本の長い歴史の発展の中で形作られた身分差別によって形成されたものです。本作では同和問題について理解を深めると同時に、同和問題をモチーフに人と人がしっかり出会い、差別とどう向き合っていくかについてのヒントとなる作品です。	2021	実写	24分	
12	はじめて認知症の人に接するあなたへ	高齢者	「はじめて認知症に接するあなたへ」 認知症の人に会ったとき、どのように接すればよいのでしょうか。この教材は、認知症について初めて学ぶ方々を対象としたものです。認知症とはなにかという正しい知識、そして、認知症の人への接し方の基本という2つの内容に絞り、誰にでもわかりやすく解説します。	2021	実写	19分	

13	ハンセン病問題を知る	感染症患者等	ハンセン病問題に関する理解を深め、偏見や差別のない社会の実現について考えるための人権啓発動画です。 隔離政策によって偏見や差別に苦しみながら生きてきた、ハンセン病患者やその家族のエピソードをアニメーション化し、国立ハンセン病資料館学芸員による解説とともに収録しています。	2021	アニメ	35分	解説書 ワークシート あり
14	サラマート ～あなたの言葉で～ (R2購入DVD)	外国人	「SNS時代における外国人」 訪日外国人の増加や改正出入国管理法など、外国の人々と接する機会が増え、職場や地域で共に生きる時代となっています。一方で、文化、言語、習慣などの「違い」や偏見から、外国人が増えることに抵抗を感じる人も少なくありません。 また、スマホの急速な普及によって、SNS内でのいじめなどが深刻化し、社会問題になっています。一人ひとりがSNSを利用する際のマナーや配慮について考えていく必要があります。 この作品の主人公・珠美は、新しく職場にきたフィリピン人のミランダに対し、様々な「違い」を「壁」と捉え、面倒な存在だと感じてしまいます。しかし、自分とは異なる文化や考えを持つミランダとの対立や交流を通して、珠美は新たな視点に気づかされ、「違い」は様々な問題解決の糸口になることも学んでいきます。珠美とミランダの姿を通して外国人は「受け入れてあげる存在」でも「労働力」でもなく、助け合うことのできる対等な仲間であること、SNSを傷つけるための道具としてでなく、人の心と心をつないでいくために利用する様子を描きます。 「違い」は壁ではなく、自分自身を成長させ、地域を豊かにする源です。異なる文化の人たちを、共に未来をつくる新しい存在として、尊重し、互いに高め合っていく。そんな多文化共生社会の実現をめざす啓発ドラマです。	2019	実写	36分	解説書 ワークシート あり
15	部落の心を伝えたい ネット差別を許すな！～川口泰司～	部落差別	「部落差別」 ネット上では部落問題についてのデマや偏見、差別情報が氾濫し、差別変動が進行しています。いままそとしておけば自然に異なる「寝た子を起こす」論は通用せず、「寝た子はネットで起こされる時代」になっています。ネット上の部落問題について「無知・無理解・無関心」な人ほど、デマや偏見を鵜呑みにしています。ネット社会の危険性を知り、そして正しい知識を身につけていく必要のための教材です。	2019	実写	28分	
16	みんなで考えるLGBTs ①いろいろな性～好きになる性～	LGBT	「LGBT」 異性を好きになるのか、同性・両性を好きになるか、あるいは誰にも恋愛感情を抱かないといった性的指向は嗜好や志向とは異なる「指向」であり、本人が選択できるものではないと考えられています。本巻は、同性愛者（ゲイ、レズビアン）である生徒たちのドラマを見ながら、好きになる性の多様性について考える映像教材です。		実写	23分	
17	みんなで考えるLGBTs ②いろいろな性～心の性・表現する性～	LGBT	「LGBT」 体の性と心の性が異なるトランスジェンダー、男でも女でもない自認するXジェンダー、自身の性自認に揺れ動くクエスチョニング……、心の性、表現する性は実に多種多様です。近年は学校などにおける多目的トイレの設置や男女共用制服の整備など、徐々に教育現場でも取り組まれてきています。自分が何者であるかという戸惑いや揺らぎを経験する生徒たちの物語を見て、心の性や表現する性について考えます。		実写	19分	
18	君が、いるから (H31購入DVD)	子ども・若者	「子ども・若者」 子どもや若者は社会の希望であり、未来をつくる存在です。しかし、現実を顧みると、子どもや若者が被害者や加害者になる悲痛な事件が後を絶ちません。今この時も虐待やいじめなどにより人権を侵害され苦しんでいる子どもや若者が「すぐ隣」に いることに、私たちは気づかなければなりません。 この作品は、母親からの心理的虐待に悩む若者「奏（かなで）」が主人公です。生き方を制限され、自分が愛されていると感じることができず自己肯定感の低い彼女も、コンビニエンスストアを舞台とした「ほんの小さな冒険」をきっかけに少しずつ変わっていきます。彼女は、そこで出会う人々とのふれあいを通して、新たな価値観に気づいていきます。ともに心を通わせ、信頼することの先に「希望」と「幸せ」があることを奏の成長を通して描きます。 子どもや若者が社会的に成長し自立していくために、人と人との関わり支えあいながら希望の種をまいていく、そんな社会の実現をめざす啓発ドラマです。	2018	実写	33分	解説書 ワークシート あり
19	映像で学ぶ部落差別解消推進法	部落差別	「部落差別」 ①部落差別解消推進法の制定までの歴史経過、②法的意義と活用方法、③条例を制定した、たつの市の紹介の3部構成で、各15分	2019	実写	45分	

20	気づいて一歩ふみだすための人権シリーズ⑤「お互いの本心が伝わる時-障がい者-」	障がいのある人	「障がいのある人」 改正障害者雇用促進法や障害者差別解消法が施行され、事業主に對して、障害者への「正当な差別的取扱いの禁止」と「合理的配慮の提供義務」が定められました。しかし、障害のある人への差別は解消されたとは言えず、また意図せず相手を傷つけているケースも少なくありません。「障害のある人をどう助ければいいのかわからない」という声を耳にします。障害のある人が、どんな場面で困っているのか、どんな「バリア」があるのかなどの具体例を挙げ、それをどう取り除けばいいのか、また障害のある人から発信することの重要性も示しています。「障害のあるなしに関わらず皆で共生していくためにはどうすればいいのか」を考える作品です。		実写	24分	
21	気づいて一歩ふみだすための人権シリーズ⑥「わからないから、確かめ合う-コミュニケーション-」	職場	「職場の人権」 昨今、長時間労働による過労死、セクハラやパワハラなどのハラスメント、不当な差別など、企業が関わる様々な「人権問題」がメディア等で大きく取り上げられます。こうした人権問題への対応は、時として、企業の価値に大きく関わります。そのため、企業の社会的責任(CSR)や社会的責任投資(SRI)に対する関心の高まりと相まって、人権尊重の考え方を積極的に企業方針に取り入れたり、職場内で人権に関する研修を行う企業も増えています。ハラスメントや差別的取扱いなど、多くの日本企業が直面する可能性が高いテーマを中心に取り上げ、それらに共通する解決策として、「コミュニケーション」を提示しています。		実写	29分	
22	ともに生きる私たちの未来「部落差別解消推進法」がめざすもの	部落差別	「部落差別解消推進法」ができた背景の現実社会とネット上で起きている新たな差別実態を明らかにする一方で、被差別部落にルーツを持つことに誇りと自信を持って活動する若者たちを紹介しています。この二つの視点から、ネット社会の中で新たな局面を迎えている「部落問題」について考え、「ともに生きる社会」をどう実現していくのか、私たち一人ひとりに問いかける作品です。	2017	実写	38分	
23	そんなの気にしない -同和問題-	部落差別	「部落差別」 タイトル「そんなの気にしない」は、親友に自分が同和地区出身だと告白したときに返ってきた言葉です。告白した方は、相手にもっと知ってほしかった。告白された方は、相手がそのままの相手でも何も変わらないことを伝えたかった。しかし、その一言がきっかけで二人はすれ違いました。プラスのイメージを持っていることに、人は「気にしない」とは言いません。「気にしない」という言葉の底には、そのことをマイナスに見る意識があるのかもしれない。私たちが普段何気なく使う言葉や態度のなかには、相手を傷つけるものがあるかもしれません。	2016	実写	17分	
24	誰もがその人らしく -LGBT-	LGBT	「LGBT」 LGBTの人たちは確かに存在し偏見や差別に苦しんでいます。あなたの身近にもそうした人々がいるかもしれません。LGBTの問題は他人事ではなく、誰もが自分らしく生きることを考えるうえで全ての人々に関わる問題です。LGBTの人を別のカテゴリーの人と見ず、自分と続く性のグラデーションの中でたまたまその位置にいる人々という風に客観視できれば誰もが生きやすい社会をつくる一歩になるのではないのでしょうか。	2017	実写	20分	
25	子供防犯スクール ネット・SNSトラブル編	インターネット	「インターネット」 LINE、twitter等のSNSが原因で発生する性犯罪やネット上のいじめ、子ども達を襲うネットトラブルや犯罪の罠は複雑・多様化しています。「よく分からないが、なんとなく注意している」では犯罪から子ども達を守れない時代となっています。本作は、架空の学校「子供防犯スクール」を舞台に専門家が近年発生したSNSやネット上の犯罪被害の原因と対策について、わかりやすく解説します。 ○小学校高学年～中学生 ○保護者、教員向け研修	2017	実写	25分	

26	出産・育児への理解がない	職場	「マタニティ・ハラスメント」 ある会社のハラスメント相談員がマタハラに悩む女性社員から相談を受けたことをきっかけにマタハラに関する知識を深め、周囲に理解と解決策を示していく内容となっています。	2014	実写	26分	
27	新・人権入門	職場	「バウハラ・セクハラ・女性活躍推進・障がい者・外国人・表現と人権・自己尊重コミュニケーション・多様性尊重トレーニング・LGBT・部落差別」 職場でありがちな人権的トラブルを16話のショートドラマとして再現。自分がそのシーンに遭遇したらどのような行動がとれるのか？視聴者とドラマの出演者が共に学び、悩み、考えることができる教材です。	2014	実写	25分	
28	部落の心を伝えたいシリーズ 第27巻 「出会いから学ぶ」	部落差別	「部落差別」 人は人との関わりなくして生きることはできない。マイナスの出会い、プラスの出会い、…そして、出会いが人を変え人生を豊かに作り上げていく。高田美樹(29)、高校での生涯の仲間との出会い…母方の祖父との18年目の出会い直し…働く現場で体験した様々な差別…それらを全て養分に転換し、しなやかに生きる。暗・重・辛を明・軽・楽に変える新世代の誕生。	2015	実写	29分	
29	なぜ企業に人権啓発が必要なのか	職場	「CSR、バウハラ、セクハラ、障がいのある人、外国人、女性活躍、公正な採用」 企業にとっての人権啓発とは何なのでしょう。頭では差別や偏見なく、人権に配慮して行動しなければならないと知っていると思いますが、では、自分の日々の業務の中で何ができるのでしょうか。具体的な人権課題を並べ、人権啓発を考えるためのヒントを企業を舞台に、日常の会社生活の一コマを切り取ったわかりやすいドラマとして構成し、あらためて考えていただくための素材として活用いただける教材です。	2014	実写	22分	解説 ワークシート あり
30	イマジネーション ～想う つながる 一步をふみだす～	偏見・意識	「子ども(いじめ)、部落差別、障がいのある人(発達障害)」 いじめを受けている人・している人、部落差別を受けている人、差別をしている人、発達障害のある人、発達障害のことを誤解している人、そして、それらの問題は「自分とは関係ない」と思っている人。何気ない日常の中で、ほかの人の「心」を想像することをおろそかにしていませんか。いじめのサインに気づくことはできるのか。いじめをなくすために、できることはあるのか。同和問題とどう関わっていけばいいのか。発達障害の人たちと共に生きるために、どのように向き合うことが必要なのか。まず「想像」すること、相手のことを知ること、想うこと。そこから人と人につながり、互いが人権を尊重しあって生きていくために、一步をふみだして行動する。あなたはイマジネーションでできていますか。	2013	実写	34分	解説 ワークシート あり
31	防ごう 高齢者虐待 ～日常の介護から考える～	高齢者	「高齢者」 高齢化の進む現代社会において、親や年老いた夫、妻の介護は、多くの人にとって避けて通れない問題となっています。日常の会議の中で思い通りにならず、弱い立場の高齢者を心ならずも虐待してしまうことは、誰にでも起こりうるかもしれません。働きながら認知症の親の介護をしている2つの事例を老老介護の話も含めドラマで描いていきます。どのような場面で虐待をしそうになるかを示すことで、視聴者が虐待発生を未然に防ぐにはどうすればいいかを考え、理解できることを目的に制作しています。	2015	実写	28分	なし
32	秋桜(コスモス)の咲く日	障がいのある人	「発達障害」 「目に見えにくい違い」の1つとして発達障害をとりあげた。特養「向陽園」の主任介護士として働く主人公は、新しく入った介護士中嶋直也に期待するが、直也は空気の読めない発言をしたり、指示が伝わらなったり、コミュニケーションが取りづらい。そんな中、直也が入居者の乾一成を連れて外出したところ、乾が倒れて意識不明になる。知らせを受けた主人公は、パニックを起こした直也を激しく叱責する。翌日から直也は欠勤。直也の母が退職届を持って職場を訪れ、直也がアスペルガー症候群と告白する。いったん退職届を受理したが、このまま辞めさせていいか悩み、外出理由を聞くため、入院中の乾を訪ねた。	2014	実写	34分	なし

33	カラフル Colorful	身近な人権問題	「家庭の中の人権」 両親と人生の巣立ちの時を迎えた子どもたちの会話を通じて、家庭の中にある人権課題を取り上げました。1人ひとりが「人権」に対する意識と知識を高め、家庭内で話し合うきっかけとして役立てたいです。	2014	実写	31分	○
34	人権は小さな気づきから	身近な人権問題	「身近な人権問題」 いじめ問題・子どもの人権・障がい者の人権・風評被害の問題・虐待問題・女性の人権・高齢者の人権・病気を患った人の人権・・・私たちの生活に身近な人権問題について話し合える内容です。		実写	34分	
35	職場いじめは許さない！ ～職場のモラル・ハラスメント～	女性	「女性」 主人公(男性)の職場では、部下の男性が交際を断った女性に対して、仕事にかこつけて、いびりやイジメを行っていた。女性は主人公に相談するが、自分自身が自分の妻への人権意識に欠けており、職場ではよくあることだと、その女性の苦しみを受け止めようとしないう。主人公は労務担当者から、コンプライアンスへの無理解や、女性への人権意識の低さを自覚させられる。		実写	19分	
36	人権アーカイブ・シリーズ 同和問題 ～過去からの証言、 未来への提言～(法務省人権啓 発教材)	部落差別	「部落差別」 我が国固有の人権問題である同和問題に焦点をあて、国や地方公共団体、企業等のさまざまな団体における人権教育、啓発担当者が身につけておくべき同和問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の証言や解説等をわかりやすく簡潔にまとめた啓発担当者向け(60分)と、一般市民向け(19分)の2つの映像から成り立っています。	2015	実写	19分 60分	○
37	部落の心を支えたいシリーズ 第 15巻 『夫婦で差別と闘います！』	部落差別	「部落差別」 琵琶湖の辺、結婚3年の石井夫妻。 部落出身の妻と部落外の夫は結婚差別を契機に人権問題について提案する内容	2010	実写	30分	×
38	人権を考えるシリーズ くらしの中の人権問題(家庭編)	身近な人権問題	「家庭の中の人権」 親として当然と、子供の形態を見る親と、勝手に見ないと怒る子ども。果たして子供のプライバシーを優先すべきか。座談会では、子供のしつけと虐待の境界線について話し合います。また家庭での男女の役割分担は、差別につながらないのかを考えます。ドキュメンタリーではDV被害者が、どのような人権侵害があったかを語ります。老人問題では、家庭の中でも孤立する老人の孤独とコミュニケーションの大切さを伝えます。	2011	実写	20分	×
39	職場の人権 ～相手の気持ちを考える～	職場	「職場の人権」 立場や条件の異なる仲間と、互いの人権を尊重しながらより良い職場環境を作るためにはどうすればよいか。 本作品はバウハラやセクハラ、コミュニケーション不足で起こるトラブルを防ぐために“相手のきもち”を理解することの重要性を取り上げています。	2007	実写	27分	
40	探梅 春、遠からじ	身近な人権問題	「共生社会」 人権課題の多くは、人を排除する意識から生まれ、人が孤立することで深刻化していきます。しかし、「困ったときはお互い様」。その気持ちが人を温かく結び付け、助け合う社会へと導きます。 私たちは、「排除」や「孤立」を生み出す社会ではなく、互いに違いを認め、支え合い、あらゆる人を包み込む社会をつくっていきたくと考えています。 本作品は、北九州市が展開する『いのちをつなぐネットワーク』を取り上げながら、「包み込む社会」に焦点を当て、人と人とのつながりや助け合いの根底となる人権尊重について取り上げています。	2010	アニメ	40分	
41	今、地域社会と職場の人権は！	身近な人権問題	「共生社会」 「増え続ける高齢者の問題」「子育てする女性の問題」「バウハラ・セクハラの問題」「同和問題」に焦点を当て、誰もが地域と職場で、自分の持っている能力や個性を発揮し、生きがいを持って働ける環境づくりの大切さを問いかけていく。	2012	実写	36分	
42	それぞれの気持ちそれぞれの立場	職場	職場のダイバーシティと人権 年代や経歴、価値観の異なるメンバーそれぞれがどのような思いを持っているのかを描き、コミュニケーションの重要性やダイバーシティの考えに沿って問題解決のヒントを示していきます。	2011	実写	28分	
43	差別意識の解消に向けてⅠ 人権のまちづくり	部落差別	「部落差別」 土地差別について		実写	29分	○
44	差別意識の解消に向けてⅡ 宅地建物取引における土地差別	部落差別			実写	22分	○
45	差別意識の解消に向けてⅢ 土地差別問題を考える	部落差別			実写	23分	○

46	「部落の心を伝えたい」第14巻 人権感覚を磨きませんか ※2本あり	部落差別	「部落差別」 沖縄出身の父と部落出身の母の下徳島県で生まれ育った大滝さん。心理テストや自筆のマンガを使ったユニークでユーモラスな講演が人権問題を分かりやすく説き起こす作品です。	2010	実写	30分	
47	明日へのまなざし	立ち直り支援	「保護司」 企画・制作：法務省保護局（無償配布） 保護司の活動の紹介	2006	実写	40分	
48	心の家路	立ち直り支援	「社会を明るくする運動」 企画：法務省保護局（無償配布） 犯罪を犯した人や非行のある人の立ち直り支援で、2人の「協力雇用主」の事例紹介	不明	実写	27分	
49	二つの道 ※2本あり	立ち直り支援	「社会を明るくする運動」 企画：法務省保護局（無償配布） 少年が道を踏み外したとき、家族や友人、隣人など周囲の人の接し方	不明	実写	30分	
50	ボクの居場所 ※2本あり	立ち直り支援	「社会を明るくする運動」 企画：法務省保護局（無償配布） 立ち直りを支えている「協力雇用主」とそこで働く人々の密着取材をし、立ち直りのために必要な例を紹介	不明	実写	30分	
51	わたしも★ボクもみんな活き活き	子ども向け	「小学生向け」 性別ではなく子どもたち一人ひとりが違いを認め合い、活かしあう関係づくりを考える人権教育教材	2007	実写	18分	
52	拉致～許されざる行為～ 北朝鮮による日本人拉致の 悲劇 ※2本あり	北朝鮮人権侵害問題	「北朝鮮人権侵害問題」 企画：日本国政府 拉致問題対策本部（無償配布）	2007	実写		
53	障害のある人と人権 誰もが住みよい社会をつくる ために ※2本あり	障がいのある人	「障がいのある人」 平成30年度 法務省委託人権啓発教材 公益財団法人人権教育啓発推進センター 障がいのある人が直面する人権問題や心のバリアフリーの実現に向けた取り組み紹介	-	実写	33分	解説書 ワークシート あり
54	企業と人権 職場からつくる人権尊重社会 ※2本あり	職場	「企業向け」 平成29年度 法務省委託人権啓発教材 公益財団法人人権教育啓発推進センター ハラスメント、LGBT、障がいのある人、外国人、えせ同和行為についての取組事例紹介など。	-	実写	40分	解説書 ワークシート あり
55	外国人と人権 違いを認め、共に生きる ※2本あり	外国人	「外国人」 平成28年度 法務省委託人権啓発教材 家庭・地域、職場、ヘイトスピーチについての3つのドラマと共生社会についての解説	-	実写	33分	解説書 ワークシート あり
56	インターネットと人権 加害者にも被害者にもならない ために ※2本あり	インターネット	「インターネット」 平成28年度 法務省委託人権啓発教材 中高生、保護者、教職員を対象としたインターネット利用上の危険性や安全な利用法・対策について、ドラマ3つとその解説	-	実写	30分	解説書 ワークシート あり
57	わたしたちが伝えたい、大切なこと アニメで見る全国中学生人権 作文コンテスト入賞作品 ※2本あり	中学生人権作文	「中学生人権作文」 平成28年度 法務省委託人権啓発教材 中学生の人権作文をアニメ化。外国人、障がいのある人をテーマに3作品収録	2017	アニメ	31分	活用手引 あり
58	ハンセン病問題～過去からの 証言、未来への提言～ 家族で考えるハンセン病	ハンセン病	「ハンセン病」 平成27年度 法務省委託人権啓発教材 自治体や企業の人権担当者向けが56分、一般向け20分の2部構成。関係者の貴重な証言や解説を中心にまとめた	2017	実写	56分 20分	活用手引 あり
59	ハンセン病とは？ ハンセン病を正しく理解する ために	ハンセン病	「ハンセン病」 兵庫県制作		実写	30分	
60	すべての人々の幸せを願って ～国際的視点から考える人 権～ ※2本あり	子ども向け	「世界人権宣言、女性、子ども、障がい、外国人」 平成27年度 法務省委託人権啓発教材 認め、相互理解についての内容。		実写	35分	活用手引 あり
61	あなたがあなたらしく生きる ために 性的マイノリティと人権 ※3本あり	LGBT	「LGBT」 平成26年度 法務省委託人権啓発教材 性的マイノリティを正しく理解するための入門編。宝塚大学日高康晴教授監修。		実写	30分	解説書 ワークシート あり
62	未来を拓く5つの扉 ～全国中学生人権作文コン テスト入賞作品朗読集～ ※2本あり	子ども向け	「中学生人権作文」 平成26年度 法務省委託人権啓発教材 過去の入賞作品の中から5編の作文を朗読、アニメやイラストで紹介。		アニメ イラスト	46分	解説書 ワークシート あり

63	あした咲く(H30購入DVD)	女性	「女性」 女性が輝く社会の実現に向けて、平成27年8月の「女性活躍推進法」成立をはじめ、これまで様々な取り組みが進められてきました。しかし、現状は、職場や地域における女性の能力発揮のための環境整備や意識改革は必ずしも十分ではなく、また女性の家事、育児、介護における負担も多い状況です。。さらに、DVや各種ハラスメントなどの女性に対する人権侵害も生じています。 この作品は、それぞれの立場ゆえの悩みや葛藤を抱えている生き方の異なる姉妹が登場し、姉妹の対立や、父との対話、そして、地域の人々とのふれあいを通して、別の視点や価値観に気づきます。 幸せの形は十人十色。自分で自分の生き方を選択し、女性はもちろん全ての人が「自分の花」をイキイキと咲かせることのできる多様性尊重社会。その実現をめざすきっかけとなる啓発ドラマです。	2017	実写	36分	解説書 ワークシート あり
64	風の匂い(H29購入DVD)	障がいのある人	「障がいのある人」 平成28年4月に、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行。この法律では、「不当な差別的取扱い」を禁止し、「合理的配慮の提供」を求めています。障害のある人は社会の中にあるバリアによって行動の制限や不当な扱いを受けるなど、生活しづらい状況におかれることがあります。このバリアは物理的な問題だけではなく、障害のある人への差別意識や知識不足からも生まれています。本作は、スーパーマーケットで働く青年、歩と正人が主人公です。歩には知的障害がありますが、子どもの頃は共に遊び、共に学ぶ「大切な友だち」でした。しかし、大人になった二人を隔てる健常者と障害者という壁。その壁を作っているのは誰なのか。二人の成長と職場での人間模様を通して、社会的な課題でもある『合理的配慮』についても触れ、見る方々が自分自身の問題として考えるきっかけとなるドラマ教材です。	2016	実写	34分	解説書 ワークシート あり
65	ここから歩き始める(H28購入DVD)	高齢者	「高齢者」 「認知症を共に生きる」をテーマに、高齢者問題を人の幸せと尊厳を守るという人権の視点から捉えます。認知症の親をもつ主人公とその家族の中で繰り上げられる介護をめぐる葛藤とさまざまな紡ぎなおしを描くことで、高齢者が人間として誇りをもって生きていく上で大切なことについて家族や地域の視点を通して考えるきっかけとなるドラマ教材です。	2015	実写	34分	解説書 ワークシート あり
66	あなたに伝えたいこと	部落差別	「インターネット時代における部落差別」 この物語の主人公は、ごく普通の若い女性です。物語が進む中で、彼女は、自分の祖母や母が同和問題でつらい思いをしてきたことを知ります。彼女の結婚話を中心に、恋人や友人、家族などとの関わりを通して、この問題が決して他人事でないこと、ネット上の情報だけではなく実際に人とふれあう中で、お互いを正しく知り合うことが同和問題やすべての差別をなくしていくために重要であることを、明るい希望とともに伝えます。	2014	実写	36分	○
67	ヒーロー	無縁社会	「無縁社会」 家族や地域、職場のつながり、いわゆる血縁や地縁、社縁の希薄化による問題(無縁社会)を考えていく内容。 「無縁社会」の中で、地域で起こる身近な人権問題に対し、傍観者としてではなく、主体的に行動することで、新たな地域のつながりを結んでいく大切さを実感していくために制作されている。	2013	実写	34分	○
			「意識と人権」 多くの人権課題に共通する根っこ部分を私たちが調べた資料				

68	ほんとの空	偏見・意識	方や思い込み、偏見という「意識」です。 本作品では、誤解や偏見に焦点を当て、全ての人権課題を自分に関わるものとして捉え、日常の行動に繋げていくことを目的に制作されています。	2013	実写	36分	○
69	桃香の自由帳	共生社会	「共生社会」 劇的な事件は描かず、どの地域でも起こりうる出来事に光を当てています。日常の何気ない言動を振り返ることで、現代を生きる私たちが見失いつつある、人と人とが寄り添いあい、共に生きる温かな世界とは何かについて語りかけます。	2012	実写	36分	○
70	クリームパン	いのち	「児童虐待・社会孤立」 子どもの虐待や若者の自殺など社会問題になっている事件を通して、社会や地域の中で孤立している人々に対する正しい理解を訴えるとともに、今一度、「いのち」について自分の問題として考えます。	2011	実写	36分	○
71	あの空の向こうに	インターネット	「インターネット」 お互いに「思い」を交わし、心の寄り添うようなコミュニケーションを図ることの大切さと、家族の果たす役割にも気付かせます。	2010	実写	38分	○
72	親愛なる、あなたへ	身近な人権問題	「地域社会・生きがい」 無関心、無理解という冷たい壁を破って、暖かい見守りと相互支援を進めることの大切さを語りかけます。	2009	実写	37分	○
73	人権のヒント(地域編)	身近な人権問題	「日常の人権」 日常に潜む人権問題を「地域編」と「職場編」の二つの視点から切り取り、自分のなかの人権意識を考えます。	2010	実写	25分	○
						25分	
						25分	
74	日常の人権Ⅰ	身近な人権問題	「女性・子ども・高齢者」 日常生活の中に潜むさまざまな人権問題を取り上げ、ドラマで人々の心にある偏見を、そしてドキュメンタリーで差別や偏見などで苦しむ人々の心の痛みを伝える作品です。	2009	実写	23分	
75	日常の人権Ⅱ	身近な人権問題	「外国人・障がい者・部落差別・インターネット」 日常生活の中に潜むさまざまな人権問題を取り上げ、ドラマで人々の心にある偏見を、そしてドキュメンタリーで差別や偏見などで苦しむ人々の心の痛みを伝える作品です。	2009	実写	23分	
76	夢のつづき	身近な人権問題	「高齢者・家族のきずな・世代間・男女」 高齢者の尊厳を守り、だれもが最後まで自分らしく生きることができる社会を実現するためにはどうしたらよいのか……。自分自身の問題として考え、行動するきっかけにしていける作品です。	2008	アニメ	40分	
77	虐待防止シリーズ 全3巻	虐待	「高齢者虐待・配偶者虐待・幼児・児童虐待」 虐待防止のための対処法を示すシリーズ。「幼児・児童虐待」「高齢者虐待」「配偶者虐待」の3タイトル	2008	実写	25分	
78	アイム ヒア 僕はここにいる 僕の歩み～発達障害とともに～	障がいのある人	「発達障害」 知的には遅れはないものの、発達がアンバランスなために学校や社会の中で生きにくさを感じ、苦しんでいる「発達障害」の人たちのことを理解するとともに、どんな支援が必要であるかを学び、すべての人権が尊重される豊かな社会の実現について考えます。	2006	実写	54分	